

ふろとを知らう シリーズ①

文教菊池の人々(江戸期の人物篇)

「文教菊池」のはじまり

今日「文教菊池」という言葉が盛んに使われていますが、一体「文教菊池」とは何でしょうか。かつてこの菊池地方は、他からこの名で評価され、またその名に恥じない状況にありました。最初の「文教菊池」は、今から六五〇年ほど前の南北朝の時代、第十五代菊池武光が、懐良親王を菊池に迎えたことから始まっています。



菊池市老人福祉センターの敷地内にある孔子堂跡の記念碑

武光は、親王を慰めるため、当時京都で流行していた「能楽」などを、ここ菊池で実施しました。これが「松囃子能」です。五五〇年以前の室町時代には、第二十一代菊池武朝は孔子堂を設け、南禅寺の高僧桂庵玄樹を招き、「朱子学」を学びました。また、家臣たちと当時流行の「連歌」の会(「菊池万句」)が催されました。特に重臣の隈部忠直は優れていました。

この菊池の文教とその高いレベルは、戦国時代には肥後国内はもとより、九州一円でも広く知られ、一目も二目も置かれていました。江戸時代には、このような優れた文教の状況を「菊池文学」といっています。しかしこれら文教は、懐良親王や菊池一族とそれに家臣団だけのものではなかった。その頃の菊池地方の文教は、本場の意味での「文教菊池」ではありませんでした。それが、名実共に「文教菊池」となったのは江戸時代でした。次回から、その代表的な「文教菊池の人々」をみていくことにしましょう。

土曜体験教室
「子ども料理教室」ひとりでもできるもん♪ 自分の食は、自分の手で!
参加者募集
この料理教室は、子ども達が自分達の力で料理に挑戦する教室です。
調理の基本である包丁の持ち方や野菜の切り方、ご飯の炊き方から、だしのとり方まで体験します。また、食に関するお話なども行います。
子ども達が生きる力をつけ、たくましく育つよう、皆さんの参加をお待ちしています。
●1回目
とき 8月12日(土)
午前9時30分～正午
ところ 中原公民館(河原小隣)
●2回目
とき 8月19日(土)
午前9時30分～正午
ところ 花房支館(花房小隣)
※1・2回目とも内容は同じです。希望する教室に申し込んでください。
内容 ごはん、みそ汁、お粥しみの一品
対象者 原則、市内小学1・2・3年生(ただし、4・5・6年生も可)
定員 15人程度
※定員になり次第締め切らせていただきます。

いただきます。
参加費 2000円
持ってくるもの
エプロン、三角巾
申込方法 教育委員会菊池分室教育課(中央公民館内)へ参加費を添えて申し込んでください。
問い合わせ・申し込み先 教育委員会菊池分室教育課
「菊池市青少年健全育成五訓」を策定しました
菊池市青少年育成市民会議では、明日の菊池市を担う青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、心身共にたくましく心豊かに成長することを願い、その実践の指針として、「菊池市青少年健全育成五訓」を策定しました。
今後、各世帯へのチラシ配布や地域へのポスター配布などによる啓発活動を予定していますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。
●菊池市青少年健全育成五訓
菊池市の子どもは・・・
一、気持ちよくあいさつをしよう
二、早寝早起きをし、朝の食事はきちんと食べよう
三、一日一つ、よいことをしよう
四、自分のことは自分でしよう

五、友だちを大事にしよう
菊池市の大人は・・・
一、子ども達に一日一声かけよう
二、家族みんなでふれあう時間を作ろう
三、地域の行事に親子で参加しよう
四、働くことの大切さを教えよう
五、郷土の歴史を知り、菊池で育つ誇りを持たせよう
問い合わせ先 社会教育課

農地相談日を設けます

農地の売買や貸し借り、転用(宅地・雑種地など)などについて、次のとおり相談日を設けます。相談は、地元農業委員および農業委員会職員がお受けします。どんなことでも結構です。お気軽にご相談ください。
問い合わせ先 農業委員会

とき	ところ
8月28日(月)	午前10時～午後4時 本庁 農業委員会
8月29日(火)	七城総合支所 産業振興課
8月30日(水)	旭志総合支所 産業振興課
8月31日(木)	泗水総合支所 産業振興課

2006 明るい選挙啓発作品コンクール

作品募集中

ポスター、書道、標語、4コマ漫画を募集しています。

- 応募方法**
- ポスターの部
 - ・テーマは「明るい選挙」です。
 - ・画用紙の四ツ切(542mm×382mm)、八ツ切(382mm×271mm)もしくはそれに準ずる大きさのものを使用してください。
 - ・対象は、小学生～高校生の皆さんです。
 - ・裏面に住所、氏名、学校名、学年を忘れずに記入してください。
 - 書道の部
 - ・テーマは、小3「自由」、小4「政治」、小5「投票」、小6「選挙」、中1「義務」、中2「民主政治」、中3「地方自治」です。
 - ・和半紙は、33cm×24cmのものを使用してください。
 - ・和半紙左に学校名、学年、氏名を忘れずに記入してください。
 - 標語・4コマ漫画の部
 - ・テーマは「有権者(投票をすることができる人)に選挙の大切さを伝えるもの」または「明るい選挙」を呼びかけるものです。
 - ・誰でも応募できます。
 - ・応募は菊池市選挙管理委員会または各総合支所総務振興課にある応募用紙で提出してください。
- ※応募用紙は菊池市ホームページからダウンロードすることもできます。



平成17年度ポスターの部で委員長賞を受賞した船津智未さん(山鹿市立米野中2年)の作品
平成17年度標語の部で会長賞を受賞した山崎沙織さん(苓北町立苓北中1年)の作品

次世代に つなぐ一票 大切に

応募締切 9月8日(金)まで
応募先 菊池市選挙管理委員会(菊池市役所庁舎内)または各総合支所総務振興課
表彰・その他 入賞者には記念品・賞状を贈呈します。12月に表彰式を予定しています。
主催 熊本県選挙管理委員会・熊本県明るい選挙推進協議会・市町村選挙管理委員会・市町村明るい選挙推進協議会
後援 熊本県教育委員会
問い合わせ先 菊池市選挙管理委員会

人権同和教育シリーズ⑮
人権学習を振り返って
泗水中2年 上田 恵

人権学習を振り返ってみると、いろんなことを学んだと思います。その中でも私が一番印象に残っていることは「三月三日の風」というビデオを見たことです。このビデオは、部落差別を受けていた人が、水平社をつくり、解放運動を始めたという話でした。

私は、部落差別を受けていた人達が、どんな困難にも負けずに差別をなくそうと運動を起こしたのすごいことだと思いました。また、水平社宣言大会を行い、多くの人に部落差別のことを理解してもらおうように呼びかけたこともすごいと思いました。

私は、人を差別してしまっ原因はたくさんあると思います。しかし、その中でも多いのは、「人によって態度を変えること」や「人に位をつける」ということだと私は思います。

「人によって態度を変える」ということは、ある人には普通に接しているのに、ある人には冷たく接したりすることです。「人に位をつける」ということは、あの人はずいことが出来るから、自分よりも上だと思ったり、逆にあの人自分よりも下だと思ってしまうことです。

私は、自分でも気がつかずに人を差別してしまっていることがあるんじゃないかと思う時があります。

しかし、私には、小6の時ぐらいから考えていることがあります。それは、自分中心になんでも考えたら、相手のことを考えられなくなり、差別をする原因になるといことです。差別をしないようにするためには、相手の違いを理解することが大切だと思います。

私は、相手のことを理解できるように「広い心」を持てるようになります。そして、差別されている人を助けてあげたいし、差別している人がいたら注意したいと思います。

